

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」					■今年度のグリーンカーテン実施状況 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど) □実施した ■実施していない		
取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
環境学習	地域の環境や地球環境の保全について学習します。	1	生活科の授業を中心に草花や野菜等を育て、その生長の様子を観察する。	1・2年各担任	児童	1,2年生は生活科の授業を中心に、3年生以上は理科の授業を中心に、草花や野菜等を育て、その様子を観察する活動を行った。それぞれの学年の発達段階に応じた指導を工夫し、児童の植物に対する興味・関心を高め、自然を大切にしようとする心を育むことができた。 2,3年生はまちなけんや学区探検を通して、自分たちが住む地域の自然環境にふれ、新たな発見をすることができた。 5,6年生は理科や家庭科の学習を通して、自分たちの生活との結びつきを意識しながら環境保全について追究することができた。	【取組の評価】 ■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 各教科の学習内容と関連付けながら、体験的な学習を進めることができた。 【今後の課題】 一つ一つの活動を通して、身近な自然環境の保全に対する意識を高めていけるよう、活動の展開等を工夫していく。 【次年度への引継ぎ事項】 環境という視点から、系統的、教科横断的なカリキュラムを意識して活動に取り組めると良い。
		2	学区探検をし、学区や自分が住む地域など身近な自然の様子を知り、地域の環境に興味をもつ。	3年各担任	児童		
		3	理科や家庭科の学習を通して、環境保全を意識した生活の仕方を学ぶ。	5・6年各担任	児童		
省エネ、省資源	電気、水、紙などの資源を大切にします。	1	節電・・・使用していない教室や廊下の電気等をこまめに消灯する。	全学年	児童 教職員	4年生は水の学習を通して、水の循環などについて学び、水の大切さや節水に対する意識を高めることができた。 児童が中心となって、節電や節水を呼びかけるポスターを作成し、節電や節水に取り組むことができた。教職員が節電・節水の意識をもって校内を巡回し、率先して取り組む姿を児童に見せることができた。 1人1台端末を効果的に利用し、連絡や学習課題の提出などをネットワーク上で行うことで、ペーパーレスを促進することができた。教職員の会議や連絡事項等も同様に進めた。 委員会の児童が、落とし物を減らそうと全校に呼びかけることで、物を大切にしようとする気持ちを向上させることができた。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 節電や節水に対する意識の高まりが感じられる一方で、身の回りの環境整備、整理整頓については課題が感じられる。 【今後の課題】 昨年度に比べて減少したものの、依然として落とし物が多い。今年度、児童からの呼びかけによって持ち物を大切にすることを意識の向上につながったことを継続していきたい。 【次年度への引継ぎ事項】 節電や節水、ペーパーレスなど、児童がその取組の意味を理解し、主体的に取り組んでいけるように促進していく。
		2	社会科の授業や下水道教室等を通して、水について学ぶ。	4年各担任	児童		
		3	会議資料の電子化やClassroom内での連絡等1人1台端末を積極的な活用を心がけ、ペーパーレスを促進する。	全学年	教職員		
		4	自分の持ち物を大切にすることを涵養し、落とし物を減らす。	全学年	児童		
廃棄物削減	リサイクルに努め廃棄物を削減します。	1	社会科の授業を中心にごみについて学び、リサイクルや環境保全等についての意識を高める。	4年各担任	児童	学校生活の様々な機会を通して、ごみの分別やリサイクルなどについて、児童が意識して行動することができるよう、声かけなどを工夫した。 各教科等の学習で学んだことを、実際の学校生活の中で活かしている児童の姿も見られるようになった。	【取組の評価】 □達成できた ■ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 今年度は、給食場大規模改修と特別教室等へのエアコンの設置工事が重なったことで、ごみの回収等に変更点が生じた部分も多かったが、ごみの分別や資源のリサイクルについて意識した行動が見られた。 【今後の課題】 意識の高まりも感じられる一方、ごみが落ちていることを気にしない児童の姿も見られる。 【次年度への引継ぎ事項】 ごみの分別やリサイクルなど、児童がその取組の意味を理解し、主体的に取り組んでいけるように促進していく。
		2	学校生活での実体験を基に、リサイクルやごみの分別等について学ぶ。	全学年	児童 教職員		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。



iPadを使って野菜の観察(1年生)



まちたんけんて地域の自然にふれる(2年生)

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

松永 忠弘

【今後の方向性について】

学校教育で行われる様々な活動に、縦のつながり(系統性)と横のつながり(教科横断的なカリキュラムの視点)をもち、それぞれの活動が単独で行われるのではなく、発達段階に応じてつながりを持ちながら児童の環境保全に対する意識を高めていけるような工夫を考えていきたい。

環境教育については、学校の教育活動だけでなく、保護者や地域、関係諸機関との連携を図りながら進め、児童が自分事として捉えられるような取組を推進していきたい。